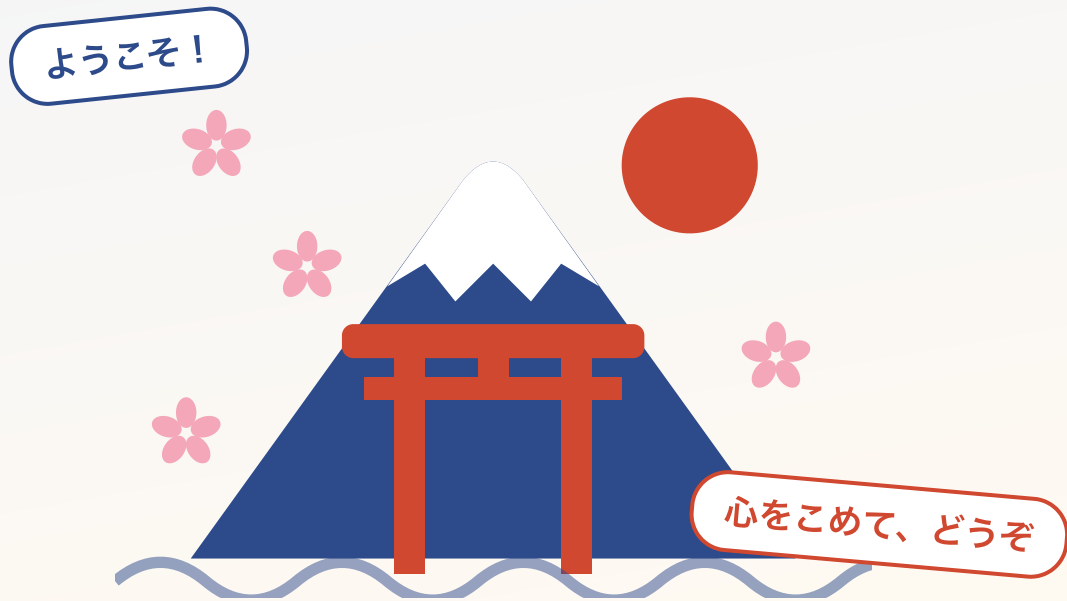




おもてなし

相手を思う心が、おもてなしになります



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

おもてなしとは	3～5
場面のおもてなし	6～8
おもてなしのふるまい	9～13
日常で生かす	14～15
見て・体験しよう	16～17
さらに知ろう	18～21
マナー	22
まとめとふり返し	23～25
伝えてみよう	26～28
チャレンジ	29～30

おもてなしてなに？

「おもてなし」は、日本で大切にされてきた、人をもてなす心とふるまいです。

「おもてなし」とは、訪れる人を気持ちよく迎え、大切にもてなす心づかいとふるまいのことです。

特別な道具や豪華な料理がなくても、相手のことを思って行動すれば、それがおもてなしになります。



おもてなし

おもてなし／omotenashi

相手を思いやり、心をこめてもてなすこと

ホスピタリティ

hospitality

相手を気持ちよく迎えもてなす心を表す英語のことば

ポイント

- おもてなしは、相手の立場に立って考えることから始まります。
- 見返りを求めずに、心をこめて行うのが特ちょうです。
- 日本の旅館や茶道、和食など、さまざまな文化に受けつがれています。

やってみよう

1. あなたが「もてなされてうれしかった」できごとを1つ書いてみよう。

.....

ワンポイント おもてなしは日本だけのものではありません。世界中に、それぞれの文化に合った「人をもてなす心」があります。

書いて覚えよう

おもてなしの心

おもてなしの心には、いくつかの大切な考え方があります。

思いやり

おもいやり／consideration

相手の気持ちを想像していたわる心

一期一会

いちごいちえ／ichigo-ichie

この出会いは一生に一度と思い、大切に心がまえ

Emma

おもてなしって、サービスとどうちがうの？



Ken

サービスはお金と交換するものだけど、おもてなしは心から相手を思う気持ちが中心なんだ。

ポイント

- 相手が何を求めているかを、先に考えます。
- 形だけでなく、心がこもっていることが大切です。
- 「一期一会」は、もともと茶道で大切にされてきた考え方といわれています。

やってみよう

1. 「一期一会」という言葉から、あなたはどんな場面を思いうかべますか。

書いて覚えよう

雨の日は傘立てやタオルを用意する

暑い日は冷たい飲み物をすすめる

相手の話をさえぎらず、うなずきながら聞く

景色のよい席や落ち着く場所をすすめる

急いでいる人には手短に対応する

次に会ったときに名前呼びかける

- 気づかいは、特別な準備がなくてもできます。
- 相手をよく観察することが、気づかいの第一歩です。

1. 今日、身近な人にできる小さな気づきを1つ考えて、実行してみよう。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

旅館のおもてなし・お店のおもてなし

旅館やお店では、それぞれの形でおもてなしが行われています。

旅館

泊まる人をもてなす

出迎えとお見送り

到着から出発まで気を配る

部屋のしつらえ

季節の花やお茶菓子を用意する

お店

買い物や食事の人をもてなす

あいさつと笑顔

気持ちよく迎える

さりげない声かけ

困っている様子に気づいて声をかける

ポイント

- 旅館では、部屋への案内や食事、布団の準備まで、一つ一つに心が配られています。
- お店では、短い時間の中でも、あいさつや言葉づかいでおもてなしが伝わります。

やってみよう

1. 旅館やお店で、うれしかった接客を思い出して書いてみよう。

書いて覚えよう

家庭のおもてなし・お茶を出す

家庭でも、お客さまをむかえる工夫や作法があります。

家庭でのおもてなしの工夫

げんかんをきれいにする

スリッパを用意する

季節の飲み物を出す

会話をはずませる

帰りに見送る

特別なごちそうがなくても、心をこめてむかえることが大切です。

お茶を出す手順

①お盆にのせて運ぶ→②「どうぞ」と言いながら出す→③湯のみの正面を相手に向ける→④茶たぐごとていねいに置く

ポイント

- 来客の前に部屋を整えることも、おもてなしの一つです。
- お茶は熱すぎない適温にし、「どうぞ」と一言そえて出します。

ワンポイント 熱いお茶を運ぶときは、やけどに注意しましょう。大人といっしょに練習すると安心です。

書いて覚えよう

桜の花や新緑をいかしたかざり

風鈴やすだれで涼しさを演出

もみじや月見だんごで実りを表す

南天や水仙で静かな季節を表す

季節や行事に合わせてかけかえる

季節の花を一輪そえる

- しつらえとは、部屋や道具を整えて、季節や行事にふさわしい雰囲気をつくることです。
- 茶室や旅館の床の間で、よく見られます。

1. 今の季節に合う花や色を1つ考えて書いてみよう。

見送りの文化・言葉づかい

別れのあいさつと言葉づかいにも、おもてなしの心が表れます。

また、お越しください

またおこしください／Please come again

来てくれたことへの感謝と再訪を願う言葉

お気をつけて

おきをつけて／Take care

帰る人の無事を願う言葉



Ken

日本の旅館では、車が見えなくなるまで見送ってくれることがあるよ。

Emma

最後まで見送ってもらえると、あたたかい気持ちになるね。



ポイント

- ・ 見送るときは、相手が見えなくなるまで見送ることもあります。
- ・ ていねいな言葉づかいは、相手を大切に思う気持ちの表れです。

やってみよう

1. だれかを見送るとき、どんな言葉をかけたいですか。

書いて覚えよう

相手が言う前に気づく心づかいがあります。

ポイント

- 「先回りの気づかい」とは、相手をお願いする前に、必要なことに気づいて行動することです。
- たとえば、寒そうにしている人に、そっとひざかけをすすめることなどです。
- 気づきすぎて、かえって相手をこまらせないバランスも大切です。

Emma

先回りされすぎると、逆に落ち着かないこともあるかもね。



Ken

そうだね。相手の様子をよく見て、ちょうどいい加減を考えることが大事なんだ。

やってみよう

1. 身近な人の様子から、必要そうなことを1つ想像して書いてみよう。

書いて覚えよう

清潔さの文化・時間を守る文化

清潔さと時間を守ることも、おもてなしの基本です。

清潔さ

気持ちよく過ごしてもらう

玄関や部屋をそうじする

ほこりや汚れをなくす

身だしなみを整える

清潔な服装で迎える

時間を守る

相手の時間を大切にする

約束の時間より早めに準備する

あわてさせない

予定通りに進める

相手を待たせない

ポイント

- 清潔さと時間の正確さは、相手への敬意を表す方法の一つです。
- どちらも、特別な技術がなくても心がければできることです。

やってみよう

1. 今日、自分の部屋や持ち物を1か所きれいにしてみよう。

書いて覚えよう

おもてなしと海外の人

海外から来た人へのおもてなしには、少しちがう気づかいが必要です。

ポイント

- 言葉が通じなくても、笑顔やジェスチャーで気持ちを伝えることができます。
- 食べ物のアレルギーや宗教上の理由で食べられないものがある場合もあります。
- 「日本ではこうする」と押しつけず、相手の文化も尊重することが大切です。

Emma

日本に来たばかりのころ、お店の人がゆっくり話してくれて助かったよ。



Ken

相手に合わせて伝え方を変えるのも、おもてなしなんだね。

やってみよう

1. 外国から来た人に、日本のことを何か1つ紹介するなら、何を選びますか。

ワンポイント 特定の国や文化を一まとめにせず、一人ひとりに合わせて考えることが大切です。

書いて覚えよう

おもてなしにも、行きすぎに気をつける場面があります。

気をつかわせすぎる

どれも「相手のため」のつもりが、負担になってしまう例です。

- おもてなしのしすぎで、相手に気をつかわせてしまうこともあります。
- 相手が「もう十分です」と感じているサインに気づくことも大切です。
- 失敗しても、次に生かす気持ちで続けることが大切です。

1. やりすぎだと感じたおもてなしの経験があれば書いてみよう。

学校でできるおもてなし

学校生活の中にも、おもてなしを生かせる場面があります。

転校生をむかえる

学校の中を案内する

行事の来賓

来てくれた人にあいさつする

係の仕事

気持ちよく仕事を引きつぐ

教室のそうじ

次に使う人のために整える

部活動の見学者

声をかけて説明する

下級生への声かけ

困っていたら手助けする

ポイント

- おもてなしは、特別な場所でなくても、日常の中で実践できます。
- 相手の立場を考えて行動する練習になります。

やってみよう

1. 学校で、あなたができるおもてなしを1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

おもてなしを体験しよう・おもてなしの心を伝える

実際に体験し、その心を人に伝えてみましょう。

場面

相手

用意すること

声をかける言葉

Ken の例

場面 友だちが家に来る／相手 クラスメイト／用意すること お茶とお菓子／声をかける言葉 よく来たね、ゆっくりしてって

ポイント

- 計画を立ててから実行すると、落ち着いておもてなしができます。
- 体験したあとは、相手の反応をふり返ってみましょう。

ワンポイント はじめから完璧を目指さなくて大丈夫。気持ちを伝えようとするのがいちばん大切です。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

写真や実物を通して、おもてなしの場面を思いうかべてみましょう。

ポイント

- 旅館やお店の写真を見ると、言葉の説明だけでは伝わらない雰囲気が分かります。
- 博物館や資料館で、茶道具や着物などの実物を見られることもあります。
- 写真や映像で、さまざまなおもてなしの場面を見比べてみるのもおすすめです。

やってみよう

1. 身近な場所で見つけたおもてなしの工夫を、写真や絵にしてみよう。
2. 旅館やお店のホームページで、部屋のしつらえを探してみよう。

書いて覚えよう

体験してみよう

実際に体験することで、おもてなしの心がより深く分かります。

やってみよう

1. 家族にお茶やお菓子を出してみよう。
2. 来客をげんかんまで見送ってみよう。
3. 友だちの話をさえぎらず、最後まで聞いてみよう。

ポイント

- 体験してみると、思っていたより難しいことにも気づきます。
- うまくいかなくても、挑戦したことに意味があります。

ワンポイント 熱い飲み物を運ぶときは、こぼさないよう、大人といっしょに練習しましょう。

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい

おもてなしの考え方を、もう一度整理しましょう。

ポイント

- 「おもてなし」は、相手をもてなす行為だけでなく、その心づかいまでをふくむ言葉です。
- 茶道の「一期一会」の考え方など、日本の伝統文化とも深くつながっています。
- 形は時代とともに変わっても、相手を思う気持ちは受けつがれています。

やってみよう

1. おもてなしの意味を、自分の言葉で説明してみよう。

書いて覚えよう

- 方言やあいさつの言葉、出されるお茶菓子の種類など、地域によって特色があります。
- 雪の多い地域では雪かきをして迎える、暑い地域では涼をとる工夫をするなど、気候に合わせた気づきもあります。
- 「これが正しい」という決まった形はなく、地域や家庭のやり方を尊重することが大切です。

1. 自分の住む地域ならではのおもてなしがあれば、書いてみよう。

19

昔と今をくらべよう

おもてなしの形は、時代とともに少しずつ変わってきました。

普

時間をかけてじっくりと

手紙や口頭で来客を知らせる

時間をかけて準備する

家族総出でむかえる

地域ぐるみで支える

今

短い時間でも心をこめて

電話やメッセージで連絡

短い時間でも準備をする

多様な文化の人をむかえる

言葉や習慣のちがいに配慮する

ポイント

- 伝える手段は変わっても、相手を思う気持ちという本質は変わっていません。

やってみよう

1. 昔と今のおもてなしで、変わらないと思うことを書いてみよう。

書いて覚えよう

1. Q. おもてなしを受けたら、お返しは必要？→ A. 気持ちがあれば十分で、無理にお返しをしなくてもよいとされています。
2. Q. 外国の人にはどうすればいい？→ A. 文化のちがいをたずねながら、いっしょに考えるとよいでしょう。
3. Q. お茶を出すとき、どちら側から出す？→ A. 一般には相手の右側から出すとよいといわれています。

- わからないことは、家族や地域のくわしい人に聞いてみるのもよい方法です。

書いて覚えよう

マナーと注意点

気持ちよく過ごしてもらうための注意点を確認しよう。

ポイント

- おもてなしは、相手の気持ちを見ながら加減することが大切です。
- 食べ物や飲み物をあつかうときは、清潔さと安全にとくに注意します。
- 熱いものを運ぶときは、やけどに注意し、大人といっしょに行いましょう。

ワンポイント 「してあげている」という気持ちを表に出さず、さりげなく行うのも、おもてなしのマナーです。

やってみよう

1. 自分がされてこまったおもてなしがあれば、どうしてほしかったか考えてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

心づかいの言葉

☐ 思いやり

相手の気持ちを想像すること

☐ 一期一会

この出会いを大切にできる心がまえ

☐ 先回りの気づかい

お願いされる前に気づくこと

場面の言葉

☐ しつらえ

季節に合わせた飾りつけ

☐ 茶たく

湯のみをのせる受け皿

☐ 見送り

帰る人を送り出すこと

ふるまいの言葉

☐ 言葉づかい

相手への話し方

☐ 身だしなみ

服装や見た目を整えること

☐ おもてなし

人をもてなす心とふるまい

気をつける言葉

☐ やりすぎ

相手に気をつかわせること

☐ 押しつけ

自分のやり方を無理にすすめること

☐ 尊重

相手の考えや文化を大切にすること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、おもてなしについて話しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|----------|---|-----------------------|
| 一期一会 | ● | ● ア. 季節に合わせた飾りつけ |
| しつらえ | ● | ● イ. お願いされる前に気づくこと |
| 先回りの気づかい | ● | ● ウ. この出会いを大切にできる心がまえ |
| 茶たく | ● | ● エ. 帰る人を送り出すこと |
| 見送り | ● | ● オ. 湯のみをのせる受け皿 |

2. 言葉を3つ書こう

1. 湯のみをのせる受け皿は？ _____
2. 季節に合わせた飾りつけは？ _____
3. 一生に一度と思って大切にできる心がまえは？ _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. この出会いを大切にできる心がまえ → （一期一会 / 一石二鳥）
2. 季節に合わせた飾りつけ → （しつらえ / 見送り）

書いて覚えよう

相手を思いやる、日本のもてなしの心

来た人を温かく迎えるときの言葉

おもてなしって、心から相手を思いやることだね？



そうだよ！お金じゃなくて、思いやりが大切なんだ。

1. 「おもてなし」を英語で1文で説明してみよう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

おもてなしの世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

茶道を調べる

一期一会の心を体験する

旅館の本を読む

プロのおもてなしを知る

地域の行事に参加する

地域のおもてなしを体験する

次のステップ

茶道の作法

お茶の点て方と出し方

和菓子

季節を映すお菓子

祭り

地域で受けつぐおもてなしの形

ポイント

- この教材の次は「地域の祭りを知る」。地域に伝わるもう一つのおもてなしの形を見ていきます。

書いて覚えよう

おもてなしチャレンジ

身近な暮らしの中でも、おもてなしの心はすぐに生かれます。

見つけよう

身近な**おもてなし**の工夫を探す

やってみよう

家族や友だちに**気づかい**を実行する

伝えよう

おもてなしの心を**言葉**にして伝える

こたえ

L28 一期一会→ウ しつらえ→ア 先回りの気づかい→イ 茶たく→
オ 見送り→エ 2. 茶たく / しつらえ / 一期一会 3. 一期一会
/ しつらえ

L33 (例) 相手を思いやり、心をこめてもてなすこと。

書いて覚えよう

おもてなし (Season 6 | No.96)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。